

CHARTERED  
MAY 4, 1980



# 福岡中央 FUKUOKA CHUO

福岡中央ワイスメンズクラブ ブリテン 2015年5月1日発行 URL <http://www.fukuchu-ys.com/>



福岡

2015.5

会長 主題

若者とともに働く、未来へ  
Work with Youth for the Future.



会長 伊藤 和行

## 今月の聖句

わたしは良い羊飼いである。良い羊飼いは羊のために命を捨てる。羊飼いでなく、自分の羊を持たない雇い人は、狼が来るのを見ると、羊を置き去りにして逃げる。一狼は羊を奪い、また追い散らす。彼は雇人で、羊のことを心に掛けていないからである。わたしは良い羊飼いである。わたしは自分の羊を知っており、羊もわたしを知っている。それは父がわたしを知っておられ、わたしが父を知っているのと同じである。わたしは羊のために命を捨てる。

(ヨハネによる福音書第10章11-15節)

解説：羊飼いは、朝、囲いから羊達を連れて、草を食べさせ、運動をさせ、夕暮れになると、再び羊達を引き連れて元の囲いまで戻る生活をしていた最下層の人達でした。羊飼い達は貧しく、羊を持っていた訳ではありませんが、羊たちは自分の羊飼いの声をよく知っていましたから、羊飼いの声に従って行動していました。主人から羊を託された羊飼い達は、時として羊を守るために体を張って外敵と戦うこともあったに違いありません。イエスは「わたしは良い羊飼い」だと言われました。まさにイエスは戦うイエスであり、イエスはユダヤ地方の最下層と言われる人々の罪を贖うために、自らの命を捨てるということが、ここで語られているのではないでしょうか。

壹岐 裕志

先月は福岡中央ワイスメンズクラブ35周年記念例会を行なうことが出来ました。記念講演には故杉山龍丸ワイスのご子息杉山満丸氏に「何故インドに行って植林を始めたか」をお話いただきました。杉山満丸、杉山泰道（夢野久作）、杉山龍丸、杉山三代が近代日本で、あるいは世界でいかに生きたかを詳しく知ることができました。お話のなかで、その根本には水戸学があったとの指摘は驚きとともに納得するものでもありました。

今月は卓話者に7代西日本区理事を務められた大野嘉宏ワイス（京都パレス）をお迎えし、「クラブを活性化するために視点を変えて」と題して主にEMCについて、又「ワイスメンズクラブとは何か」を話していただきます。35周年をむかえ、今後のクラブ活動の指針を考える機会となればと思っています。

4月25日にネパールで発生した地震では、死者は周辺国を合わせて7603人になっています。ネパールYMCA Acharya総主事より「地震発生時、街は悲鳴と砂埃に包まれ、パニック状態でした。そして、食料だけでなく、医療物資などが不足し、今も人々は余震の恐怖に怯えています。特に被害が大きいと言われている、ラリトプール、カトマンズ、ヌワコットの地域に、現地のユースを含めた30名と、まずは食料や水、テントや医薬品の配布を行います」メッセージとともに緊急支援募金の呼びかけが行われています。

## 5月の予定 PLAN OF MAY

第1例会：5月14日（木）  
18:30～21:00  
会 場：ホテルセントラーザ博多  
☎ 092-451-0111  
内 容：大野 嘉宏氏（京都パレスクラブ）  
「ワイスメンズクラブの活性化について」

第2例会：5月28日（木）  
18:30～20:30  
会 場：福岡YMCA 天神校  
☎ 092-781-7410

## 4月のデータ DATA OF APRIL

●4月在籍者：17人 第1例会 第2例会  
メンバー 12名 8名  
ネット 3名 1名  
ゲスト 8名 0名  
ビジター 0名 0名

●4月出席率： 70.5%  
4月 9日（木） 第1例会  
4月 26日（木） 第2例会

## 今月までのファンドの状況

FUND ファンド	
4月 第1例会	15,000円
第2例会	0円
累計	67,838円

福岡中央ワイスメンズクラブの  
プリテンは再生紙を使っています！  
SAVE THE EARTH!

国際会員 主題 Isaac Palathinkal (India) "Talk Less, Do More" 「言葉より行動を」  
アジア地域会員 主題 岡野 泰和（大阪土佐堀） "Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」  
西日本区理事 主題 松本 武彦（大阪西） 「響き合い、ともに歩む」 "To walk together, echoing each other"  
九州部部長 主題 亀浦 正行（熊本にし） 「あなたからわたしへ わたしからあなたへ」  
"Y's sprit, from you to me and from me to you for generations!"

CLUB OFFICE

福岡市城南区七隈 1-10-10 092-831-1771  
1-10-10, Nanakuma Jyonan-ku, Fukuoka city 814-0133 JAPAN

## 4月 35周年記念例会報告

### 草場 修二

とても良い35周年記念例会でした。杉山さんの卓話が良かったですね。料理もとてもおいしかったです。ワインを3杯も飲みました。記念誌も簡単ながらよくできていました。

ボランティアの活動が35年も続くなんてすごいですね。また私がその中で25年を過ごしたとは信じがたいことですね。



### 伊藤 和行

今回、35周年記念例会を開くにあたり二人のメンバーの働きに感謝の気持ちを述べなければなりません。中村ワイズと草場ワイズです。

中村ワイズは故杉山龍丸ワイズの資料を集めてください、国際や日本区でグリーンファーザーの名前を復活されました。またご子息の杉山満丸氏と連絡を取り、記念講演にふさわしい話を聞く機会を与えていただきました。草場ワイズは永年にわたってクラブ資料や記録を整理保管され35周年例会を迎える充分な準備をしていただきました。おかげでなんとか無事に例会を開催することができました。まことにありがとうございました。

### 大浦 敬規

35周年おめでとうございます。  
福岡中央ワイズが35周年を迎えたという事には皆さんの息の長い、しっかりした下支えがあったからだと思います。これからも末永くやって行けたらいいですね。



### 大浦 京子

先日の35周年例会では、インドで奇跡的な緑化事業を成し遂げられた「杉山龍丸」氏について、息子の満丸さんより講話を頂きました。たまたま隣に座られた新メンバーの坂本さんも、モンゴルでの植林ボランティアを現在進行中のこともあり、龍丸さんの著書である「グリーンファーザーの青春譜」を既に読みました。記念すべきクラブ30周年より5年が経ち、3人の入会者に恵まれた事に感謝し、ワイズの良さである1度にたくさんの人の出会い(異世代交流)を大切にしたいです。団塊の世代の私達の周りでは、孫の誕生から高齢の親(80~90代)の介護等まで色々と変化がありました。自分達の時は次世代になるべく迷惑をかけず、ポジティブに過ごせたらと考えています。



### 齊藤 皓彦

福岡中央クラブ創立35周年おめでとうございます。私のクラブ加入は、長い鳥取滞在の後、福岡に戻ってきた2001年の事ですから、およそ15年になります。その間あまりクラブの活動に貢献はできませんでした。でもクラブからは、ケニアでの活動に対して大きな支援を頂きました。また、クラブに加入したおかげで、わたし自身の福岡YMCAへの支援について勇気と元気を与えられ続けました。様々なメンバーとの幅広い出会いは、私の元気の源になっています。これからもよろしくお願ひいたします。



HAPPY BIRTHDAY OUR FRIENDS!!

### 壹岐 紗子 IKI, Ayako 5月28日生まれ

お誕生日おめでとうございます！いつまでも若々しい紗子さんでいらっしゃい下さい！



HAPPY ANNIVERSARY OUR FRIENDS!!

### 中村 次郎・順子 Jiro ♥♥ Junko 5月3日 ??周年！おめでとうございます！

5月3日憲法記念日が私たちの結婚記念日です。平和憲法が守られ続けられるように祈り努力したいと思います。



## 福岡におけるワイズメンズ運動について

中村 次郎

5月の例会は京都パレスのクラブの大野嘉宏さんをお迎えして「ワイズメンズクラブの活性化について」ということでお話を聞くことになりました。

これは私ども福岡中央クラブ設立35周年記念の特別例会になっています。

一言で、「なぜ、今の時に大野さん」という発想になったのかをまず述べさせていただきたいと思います。

日本、世界、福岡とそれぞれの地域においてワイズメンズクラブはその時代において、質、量ともにいろいろと変化を遂げてきました。その中で、今から約30年ほど前に日本のワイズメンズが弱体化していた時代に京都地区の大野さんを中心としたワイズの方々が小堀憲介さん（元中央大学教授）の奉仕クラブの理論を学ぶことを通じて大きなインパクトを受け、この理論に基づいてクラブ作り、活性化に励まれ、クラブの活性化だけでなく、全国的なワイズの発展に貢献なさったことがあり、その原点を学んでみようということになったのです。

アメリカの有名な哲学・神学者ライン・ホルド・ニーバー（オバマ大統領もこの人に関して卒業論文を書いた）の祈りの言葉に次のような言葉があります。

「神よ、変えることのできないものについては、それを受け入れるだけの冷静さを与え給え。変えることのできるものについて、それを変えるだけの勇気をわれらに与え給え。そして、変えることのできるものと、変えることのできないものを識別する知恵を与え給え。」

私どもは、この例会で学ぶことにより、良き学びのときを持ちたいと思います。

## YMCAニュース Y&Y

### ●5月31日YMCA祭開催！

毎年恒例（昨年より春先に変更）のYMCA祭が5月31日に実施されます。ことしは「多文化共生」をテーマにいろんな国の食べ物や文化体験を中心にプログラムが構成されています。

日本語学校の生徒による各国のソウルフード販売や、民族衣装体験など、またスタンプラリーや韓国の太鼓演奏などいろいろな催しがたくさんです。今回はワイズの皆様にもご出展いただき感謝です。

また、今回の益金は特にネパールの大地震で被災した学生家族を中心に支援がなされる予定です。そのためにも多くの来場者が望れます。どうぞ多くの方をお誘いの上ご参加ください。どうぞよろしくお願いします！



### ●ネパール大地震被災者支援募金開始！

4月25日にネパール中部地方を襲った地震被害はいまだにその全容がつかめていない状況です。ただ、すでにYMCAに在籍する学生の家族の多くの家が被災をしており、支援を必要としています。YMCAでは全国での被災者支援募金活動とともに、福岡YMCA独自の被災者支援募金も同時に起こっています。街頭募金および館内募金など、様々な媒体での募金活動を展開しています。

年末街頭募金については東日本大震災被災者への募金活動でもありました。そこにネパールの学生は参加し、街頭で募金を叫んでくれました。今度はこちらがその恩返しをするときかもしれません。どうぞ皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



## 第2例会報告 4月26日

出席者 伊藤 大浦 草場 草場みちこ 齋藤 坂本 中野 中村 堀田 松井

YMCA祭 5月31日(日)

坂本さん出店のブースをメンバーが手伝う  
浴衣着付けの協力をする。(松井、堀田、草場)

5月例会 14日(木) ドライバー 伊藤さん 例会司会 岡さん

卓話 大野嘉宏元理事(京都パレス) 「クラブを活性化するために視点を変えて」  
ホテルセントラーザ宿泊予約

プリテン5月号 聖句と解説(壹岐さん)、4月例会報告(全員が感想を書く)、誕生日コメント(壹岐絢子さん5/28) 結婚記念日(中村夫妻5/3)

6月例会 11日(木) ドライバー 齋藤さん

ボランティアリーダー歓迎例会  
坂本さんのモンゴルの話、リーダーの出し物、メネット会によるプレゼント

次年度役割分担

西日本区大会・京都アジア大会参加者確認

韓国人徴用犠牲者慰霊碑訪問の件 5月30日に車で訪問

福岡 YMCA 会員協議会に伊藤さん堀田さんが参加する。



2014~2015 西日本区理事 松本 武彦

ワイスメンズクラブ国際協会西日本区

理事通信[VOL. 11] 2015年5月1日発行

### 主題「響き合い、ともに歩む」

"To walk together,echoing each other."  
こころ豊かにワイス活動を展開し、  
ワイススピリットをつないでゆく

5・6月の残る2ヶ月は今期におけるワイス活動の整理と申し送りに時間を割くときです。もちろん、その時々の課題への即時対応も求められますが、単年度制下でワイス活動の理念をしっかりと継続してゆく上では、整理と引継ぎが大事であると考えます。現在、来期への引継ぎ業務としては、B F代表受け入れ業務、デンマークからの西日本区クラブ例会訪問のお世話などがあります。今期、岩国みなみクラブと東日本区よりおかクラブのDBC締結に続けて、4月5日、京都トップスクラブが、その20周年記念例会に先立ち、東日本区の沼津クラブとのDBC締結式を持たれました。若いメンバーが数多くを占める京都トップスクラブとベテランメンバーが多い沼津クラブとのDBC締結は互いを力づける好ましい組み合わせの例になると予想され、今後が楽しみであります。

4月11日(土)～12日(日)、ホテル・クライトン新大阪で西日本区第3回役員会を開催し、4件の議案審議のうちの1件、国際新事業「STEP For All」はどの事業部門が担当するかの審議では、事業名称の一部に国際・交流事業がかわる「STEP」の文字があるものの、実質はTOF事業の発展にかかる新事業であるので、担当は地域奉仕・環境事業主任とし、国際からの募集案内があれば地域奉仕・環境事業主任から広報し進めることとしました。そして、4件の協議案のうちの1件の協議では、為替レートの変動が激しい中で国際献金EF(エンダウメントファンド)においてこのレート変動にどのように対応するかにつ

いていろいろな意見が出され、提案者から、これらの意見を踏まえ、事業委員会で改めて検討したいとの意思表明があり、これを了としました。

### 「東山荘100年募金」ご協力のお願い

日本YMCA 同盟の国際青少年センター「東山荘」は、今年、創立100周年を迎えます。東山荘は学生YMCAの夏季学校常設施設としてスタートし、青少年育成を始めとする様々なYMCA活動の拠点として用いられ、日本におけるYMCA運動の心の故郷とも称されています。とりわけ、東日本大震災を起点として、被災地からの被災者受け入れ、被災ファミリーや現地で活動するボランティアスタッフに対する心のケアプログラムやキャンプを通じて、東山荘が全ての年代の人々に心の癒しと安心を取り戻し、活力を持ってそれぞれの場に戻って行くための安心安全の場であることの意味がより一層強まっていることあります。東山荘創立100周年を迎えるにあたり、野外教育ゾーンの整備、施設改修等を目的として2009年に募金が開始され、ネイチャーセンター、バーベキュー場等が完成されましたが、今般、新本館の建設を主たる目的として第2次募金「東山荘100年募金」が開始されました。新本館建設は、老朽化した本館を耐震性能にも優れたより機能的なものに建て替え、利用者に安心、快適に使っていただくとともに、魅力ある施設によって、利用者を増やして行こうというものです。今年秋に着工し、2017年3月頃に完成の予定です。詳しくは、3月19日付で各部長・各クラブ会長宛に送付しました日本YMCA 同盟からの依頼状、募金パンフレットをご参照ください。

西日本区の各部・各クラブにおかれましては、そしてメンバーの皆さんにおかれましても、東山荘100年募金にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。